

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学 校 法 人 明 治 大 学

(2) 大学名

明 治 大 学 大 学 院

(3) 大学の位置

〒214-8571

神奈川県川崎市多摩区東三田1-1-1

(〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1)

(4) 管理運営組織

職 名	届 出 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ナガホリ モリヒロ) 長 堀 守 弘 (平成20年4月1日)		
学 長	(ナヤ ヒロミ) 納 谷 廣 美 (平成16年4月1日)		
大学院長	(ヨシムラ タケヒコ) 吉 村 武 彦 (平成20年4月1日)		
研究科長	(ミキ イチロウ) 三 木 一 郎 (平成20年10月1日)		

(5) 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

(5)－① 調査対象研究科等の名称，定員

調査対象研究科等の 名称（学位）	設 置 時 の 計 画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
理工学研究科 新領域創造専攻 （博士後期課程） 博士（工学，理学又は学術）	3 年	5 人	15 人	基礎となる学部等 理工学部

(5)－② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	報告年度	平成 2 1 年度		平成 2 2 年度		平成 2 3 年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人	人	人	人	人	人	人	1.2倍	
	()	()	5 (－)	(－)	5 (－)	(－)	(－)		
	[]	[]	[－]	[－]	[－]	[－]	[－]		
志願者数	()	()	12 (2)	－ (－)	1 (－)	－ (－)	－ (－)		
	[]	[]	[1]	[－]	[－]	[－]	[－]		
受験者数	()	()	12 (2)	－ (－)	1 (－)	－ (－)	－ (－)		
	[]	[]	[1]	[－]	[－]	[－]	[－]		
合格者数	()	()	12 (2)	－ (－)	1 (－)	－ (－)	－ (－)		
	[]	[]	[1]	[－]	[－]	[－]	[－]		
B 入学者数	()	()	11 (2)	－ (－)	1 (－)	－ (－)	－ (－)		
	[]	[]	[1]	[－]	[－]	[－]	[－]		
入学定員超過率 B／A			2.2		0.2				

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学年	平成21年度		平成22年度		平成23年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[]	[]	[1] 11	[-] -	[-] 1	[-] -	他専攻からの転入者2名が2年次に在籍(22)
2 年次			[-] 2	[-] -	[-] 8	[-] -	
3 年次					[-] 2	[-] -	
計	[]	[]	[1] 13		[-] 11		

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	退学者数（a）	在学者数（b）	入学者に対する 退学者数の割合 （a/ b）
平成20年度 （平成20年4月1日～ 平成21年3月31日）	計 []	（累積）計 []	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	（主な退学理由）		
平成21年度 （平成21年4月1日～ 平成22年3月31日）	計 []	（累積）計 []	%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	（主な退学理由）		
平成22年度 （平成22年4月1日～ 平成23年3月31日）	計 [1]	（累積）計 [1]	27.2%
	うち平成20年度入学者 人	うち平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	うち平成21年度 人	
	うち平成22年度入学者 3 人	うち平成22年度 11 人	
	（主な退学理由）		
	他研究科への移籍 1名 その他 2名		

2 授業科目の概要

<理工学研究科 新領域創造専攻（博士後期課程）>

（1）授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	(研究指導)					8 6	4 3 3				平成22年4月1日昇格による変更 (22) 担当：山本俊哉（教授） 教育課程充実を図るため、教員追加 (22) 担当：杉本旭（教授） 担当：福地健太郎（特任准教授） 教育課程充実を図るため、教員追加 (23) 担当：波戸岡景太（准教授）
博士後期課程プロジェクト系科目	先端数理科学 A 先端数理科学 I	1前			2						英文証明を考慮し科目目名称変更 (23)
	先端数理科学 B 先端数理科学 II	1後			2						英文証明を考慮し科目名称変更 (23)
	Advanced Mathematical Sciences C Advanced Mathematical Sciences I	1前			2						英文証明を考慮し科目名称変更 (23)
	Advanced Mathematical Sciences D Advanced Mathematical Sciences II	1後			2						英文証明を考慮し科目名称変更 (23)
	日本古代学（考古学）I	1前			2						
	日本古代学（考古学）II	1後			2						
	日本古代学（歴史学）I	1前			2						教育課程充実を図るため、科目追加 (22) 担当：加藤友康（特任教授）
	日本古代学（歴史学）II	1後			2						教育課程充実を図るため、科目追加 (22) 担当：加藤友康（特任教授）
	日本古代学（文学）I	1前			2						教育課程充実を図るため、科目追加 (22) 担当：神野志隆光（特任教授）
	日本古代学（文学）II	1後			2						教育課程充実を図るため、科目追加 (22) 担当：神野志隆光（特任教授）

(2) 授業科目数

届 出 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
科目 —	科目 —	科目 6	科目 6	科目 []	科目 []	科目 10 [4]	科目 10 [4]	博士後期課程プロジェクト系科目の追加による増加

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{6} = \boxed{0}$$

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	238, 187㎡	0㎡	0㎡	238, 187㎡				
	運動場用地	368, 691㎡	0㎡	0㎡	368, 691㎡				
	小 計	606, 878㎡	0㎡	0㎡	606, 878㎡				
	そ の 他	307, 144㎡	0㎡	0㎡	307, 144㎡				
	合 計	914, 022㎡	0㎡	0㎡	914, 022㎡				
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		280, 781㎡ (280, 781㎡)	0㎡ (0 ㎡)	0㎡ (0 ㎡)	280, 781㎡ (280, 781㎡)				
(3)教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	教室：用途変更による修正 (22) 用途変更による修正 (23) 職員：配置変更による修正 (22) 配置変更による修正 (23)		
		249室 241室	164室 158室 164室	385室 381室	29室 30室 158人 160人 (補助職員150人)	23室 18人 (補助職員20人)			
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		専任教員増員のため (22) 専任教員増員のため (23)		
		理工学研究科新領域創造専攻 (博士後期課程)			12 11 9 室				
(5)図書・設備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	購入による増加 (22)	
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル					
		冊	種	〔うち外国書〕					点
	理工学研究科	31, 500 [10, 500] (29, 800 [9, 700])	455 [171] (455 [171])	8ﾊﾞｯｸﾞｰｼﾞﾝ 12, 326ﾀｲﾄﾙ (38276) (38849) -(38276)-	39678 38276 (38849) -(38276)-	3886 (3729)	0 (0)		
	計	31, 500 [10, 500] (29, 800 [9, 700])	455 [171] (455 [171])	8ﾊﾞｯｸﾞｰｼﾞﾝ 12, 326ﾀｲﾄﾙ (38276) (38849) -(38276)-	39678 38276 (38849) -(38276)-	3886 (3729)	0 (0)		
(6)図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
		23, 914㎡		3, 110		2, 430, 416			
(7)体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		12, 449㎡		バレーコート、テニスコート、ゴルフ練習場、プール等					
(8)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	4, 305千円	4, 443千円	図書購入費	218千円	273千円	439千円	
	共 同 研 究 費 等	81, 069千円	83, 684千円	設備購入費	— 千円	2, 466千円	4, 888千円		
	学生 1 人 当 り 納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		1130千円	850千円	850千円	— 千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			補助金、資産運用の果実及び寄附金その他の収入をもって維持運営する					

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (23年2月)	文学部心理社会学科の入学定員超過の是正に努めること。	平成23年度入試から入学定員を増員する等、是正に努めている。その結果、定員超過率は是正されている。 (平成23年度入学定員超過率0.99, 4年間の平均入学定員超過率1.24)	
設置計画履行状況 調 査 時 (22年1月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

7 その他全般的事項

<理工学研究科 新領域創造専攻>

(1) 設置計画変更事項等

届 出 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 施設・設備	① 駿河台地区校地計画に基づき、猿楽町校舎の改修工事が実施され、平成22年前期期間は猿楽町校舎の設備が駿河台キャンパス11号館に一時移転しているが、後期には同規模の演習・実習室を整備し、猿楽町校舎で再び活動を行うことになっている。(22)

(2) 教員の資質の維持向上の方策（F D活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 全学的な教育支援体制に係る諸施策の立案及びその推進を通じて、組織的かつ継続的に教育内容及び教育技法の改善を行うことにより効果的な教育活動の実践を支援・促進することを目的として明治大学教育開発・支援センターを設置している。また、本研究科においては理工学部と合同の教育資質開発委員会（F D委員会）を設置し、博士前期課程と同様に、教育貢献及び授業改善に関する事項を協議・検討している。その他、合同教授会の下に設置されている教学委員会においても、前期・後期課程ともに、カリキュラム等教務事項及び学生奨学等学務事項の審議・立案を行っている。 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） F D委員会については不定期ではあるが、必要に応じて年間4回程度、実施している。教学委員会については、原則毎月実施している。委員会メンバーは学部スタッフ若しくは合同教授会において選出された委員長と各専攻（学科）から選出された委員により構成されている。 c 委員会の審議事項等 ・ 理工学研究科要項（シラバス）における記載内容の改善について ・ 授業改善アンケート実施について ・ 特別講演会の開催について ・ 教育貢献賞の対象となる教育業績の審査及び選考について ② 実施状況 a 実施内容（学部・博士前期課程と共通） ・ 授業改善アンケート ・ 理工学研究科要項における記載内容の改善 ・ 新任教員のための研修会 ・ 教育貢献賞の対象となる教育業績の審査及び選考 ・ F D講演会の実施 ・ 大学主催の教材開発セミナーへの参加 b 実施方法 ・ 前、後期の講義終了直前に授業改善アンケートを試行し始めた。 ・ 教育貢献賞の対象となる教育業績に審査及び選考を5月に実施している。
--

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 授業改善アンケートについては試行して2年を迎え、現段階では実施教員はまだ少数ではあるが、今後、本格的に導入するにあたり、内容の精査を行っていくところである。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

F Dに関する活動は学部比に比べて研究科では遅れていたが、授業改善アンケートの本格実施に向けた準備、F Dに関する各種講演会の企画や参加、シラバスの記載内容の精緻さが進められてきている。後期課程においても研究指導における、指導改善を目指した活動等視野に入れている。

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本専攻博士後期課程は、文理融合・領域横断型の教育を行い、多様化・複雑化・高度化が進展する社会の既存分野又は未踏分野において活躍できる高度専門職業人及び研究者を育成・輩出することを目的として設置された修士課程を受け、さらに変動が加速している社会情勢に対応できる、より高度な教育・研究を修めた人材の育成・輩出を目標としている。平成21年度に修士課程が完成をしたことを受け、平成22年度から教育・研究活動が開始されたばかりの後期課程の現状を評価することは修了者を輩出していない状況もあり困難ではあるが、さらに継続して研究活動を継続しようとする本専攻修士課程の進学者や在職のまま進学してきている学生も含めた社会人経験者等が多様な人材が入学をしてきており、設置目的の達成に向けて順調に研究指導を開始することができているものと考えている。

また、理工学研究科では、「学校法人明治大学自己点検・評価基本規程」に基づく、教学自己点検・評価委員会における定期的な検証を受けるとともに、独自に「自己点検・評価委員会（理工学部と合同）」を設置し、毎年「自己点検・評価報告書」を作成し、次年度以降に向けた問題点・改善方を洗い出すことで、設置の趣旨及び教育研究上の理念、目的を達成するための改善活動を実施している。本専攻博士後期課程においても、社会に幅広く貢献できる高度職業人と研究者の育成のために、適切な自己点検・評価体制を構築し、平成24年度における修了生輩出を目指していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・ 平成24年3月 公表予定

b 公表方法

- ・ 自己点検・評価の結果をホームページで公表し、広く学内外から結果に対する意見を聴く体制をとっている。

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 「大学基準協会」の行う大学評価へ申請を行い、2008年3月に大学基準に適合していると認定された。その際に指摘された「助言」をはじめとした様々な課題について具体的な改善策のアクションプランを作成するとともに、定期的な認証評価の申請に対応する体制作りを検討している。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (無)
- b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (2011年6月公開予定)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(公表する場合、承諾する)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.meiji.ac.jp/koho/disclosure/secchi/>)